

退職手当支払差止処分書

年 月 日

様

神奈川県市町村職員退職手当組合  
組合長



神奈川県市町村職員退職手当組合退職手当支給条例第 18 条第 2 項の規定に基づき、一般の退職手当等の額の支払を差し止めます。

なお、この処分についての審査請求は、行政不服審査法の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 3 か月以内に、神奈川県市町村職員退職手当組合長に対してすることができます。

また、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 3 か月が経過した後においては、この処分の後の事情の変化を理由に、神奈川県市町村職員退職手当組合長に対して、この処分の取消しを申し立てることができます。

また、この処分の取消しの訴えは、行政事件訴訟法の規定により、この処分があったことを知った日から 6 か月以内に、神奈川県市町村職員退職手当組合を被告として（被告を代表する者は神奈川県市町村職員退職手当組合長）提起することができます（なお、この処分があったことを知った日から 6 か月以内であっても、この処分の日から 1 年を経過するところの処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。ただし、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 3 か月以内に審査請求をした場合には、この処分の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日から 6 か月以内に提起することができます。（なお、その裁決があったことを知った日から 6 か月以内であっても、その裁決の日から 1 年を経過するところの処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。

(退職をした者の氏名)

(採用年月日)

年 月 日

(勤続期間)

年 月

(退職年月日)

年 月 日

様式第 34 号 (裏面)

(退職時の所属名)	
(退職時の職名)	(退職時の給料月額) 円 ( 職 級 号給)
(懲戒免職等処分を受けるべき行為をしたことを疑うに足りる相当な理由)	
<p>(支払差止処分の取消し)</p> <p>この処分は、次のいずれかに該当する場合には取り消され、差し止められている一般の退職手当等の額が支払われます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 この処分を受けた者について、この処分の理由となった行為に係る刑事事件につき無罪の判決が確定した場合</li> <li>2 この処分を受けた者について、この処分の理由となった行為に係る刑事事件につき、判決が確定した場合(拘禁刑以上の刑に処せられた場合及び無罪の判決が確定した場合を除く。)又は公訴を提起しない処分があつた場合であつて、神奈川県市町村職員退職手当組合退職手当支給条例第 19 条第 1 項の規定による処分を受けることなく、その判決が確定した日又はその公訴を提起しない処分があつた日から 6 か月を経過した場合</li> <li>3 この処分を受けた者について、その者の基礎在職期間中の行為に係る刑事事件に関し起訴をされることなく、かつ、神奈川県市町村職員退職手当組合退職手当支給条例第 19 条第 1 項の規定による処分を受けることなく、この処分を受けた日から 1 年を経過した場合(ただし、この処分を受けた者がその者の基礎在職期間中の行為に係る刑事事件に関し現に逮捕されているときその他これを取り消すことが支払差止処分の目的に明らかに反すると認めるときは、この限りではない。)</li> <li>4 この処分を行った者が、この処分後に判明した事実又は生じた事情に基づき、この一般の退職手当等の額の支払を差し止める必要がなくなったと認める場合</li> </ol>	

備考 1 勤続期間とは、神奈川県市町村職員退職手当組合退職手当支給条例第 9 条第 1 項に規定する勤続期間をいう。